

MAXHUB



MAXHUB1台で
打合せの効率度がグンとUP!
業務効率化を実現

企業名 中橋システム株式会社
業種 システム設計・開発
利用シーン 社内外会議・打合せ
企業概要 独立系ソフトウェア企業として、
基幹業務システム「Expert-Ns」の
設計・開発を行う。



ソリューション開発二部
専任アプリケーション SE
荒井 賢一様

ソリューション開発二部
加藤 詩音様

今回は東京オフィスに勤務する、
ソリューション開発本部
荒井様、加藤様にお話を伺いました。

導入前の課題



- » 小さなモニターを設置しており、会議の際全員で同じ画面を見ることが困難。
- » 個人のPCを使用してZoom会議を行うと、資料が固定してしまうため、複数の資料を見ながら会議を行うことが難しい。

導入後の変化

- » 会議の参加者全員が同じ資料に向かって話をしているという意識が生まれた。
- » 周辺機器を接続する必要がなくなり、会議室がすっきりとした。
- » ドングルを複数使用することで、複数の資料を同時に投影しながら会議が可能に。



東京オフィスにもやってきたMAXHUB

イグアス: MAXHUBの導入経緯を教えてください。

荒井様: 元々金沢本社で使っていて、2022年の東京オフィス移転に伴い導入しました。

MAXHUBを使う前は小さいモニターを使っており、会議室に集まっても参加者は皆目を凝らしながら画面を眺めていました。

相手方が投影した資料も見づらく、加えて、自分たちでそれぞれ資料投影する時も、そのたびに一本のケーブルをPCに繋いだり抜いたりする動作が煩雑で使いにくかったです。導入の決定は本社側で行いましたが、実際東京オフィスでもお客様とのオンライン打合せは頻繁に行われるので、画面が大きくなることは単純に嬉しかったです。

会議参加者の意思疎通がスムーズに

イグアス: MAXHUB導入前・後に変化はありましたか？

加藤様: ありましたね。会議で使う部屋はMAXHUBの有り無しで選定されるようになりました。画面が大きく打合せがしやすいのと見た目もカッコいいので、MAXHUBのある会議室は取り合いになることも多いです(笑)。

その場合は会議の重要度でMAXHUBのある会議室を使うか決めています。

実際、我々が担当しているお客様が北海道の企業なのですが、オンライン会議がほとんどな為、MAXHUBの導入によって会議をスムーズに進められるようになったと実感しています。

特に、マイクなどほかの周辺機器を接続しなくてよいのが便利です。あとは良く使うのは「ドングル」ですね。複数人の画面を同時に表示して説明できるようになったので、意思の疎通がスムーズで、仕事ははかどりやすくなりました。



MAXHUBで最良なプレゼン方法を開拓

イグアス: 今後の活用について教えてください

荒井様: 現在はZoomでの会議で使用することがほとんどですが、ホワイトボード機能は使って行きたいですね。実際の会議ではホワイトボードを使うことが無いので、新しい説明の方法をMAXHUBで開拓していきたいです。またMAXHUBとPCの双方向でファイルを転送する機能は今後使ってみたいと思います。

MAXHUB

パートナービジネス事業部
ソリューション本部
オープンシステム営業部

✉ ig_ns@i-guazu.co.jp

🌐 <https://www.i-guazu.co.jp/lp/maxhub/>

